

ふくおか & MAFF

2025.8

Vol.71

2025年8月8日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 吉井上棚田（糸島市）～ みんなで取り組む棚田保全！地域外や農業者外の方とも一緒に～
- 有機農業・環境保全型農業の優れた取組を募集します！
- ニッポンフードシフト 表彰のご案内
- 「見たい！知りたい！九州農業2025」を公表

吉井上棚田（糸島市）～ みんなで取り組む棚田保全！ 地域外や農業者外の方とも一緒に～

つなぐ棚田遺産に認定されている吉井上棚田の保全や地域活性化に取り組む農事組合法人福吉の代表理事 吉住公洋様や関係者の皆様と意見交換を行いましたので、ご紹介します。

どんな取組？

水稻の生産について、組織的な活動開始当時、機械利用組合を立ち上げ、後に法人化。近年は法人に生産・管理をお願いする農家が増えています。高齢化が進み棚田の管理者が減少する中、**地域外の方が利用する市民農園（農園利用方式）の実証も開始**。多数の応募があり、**農作業を行うことにより生産者の苦勞に気づいたり、水路掃除や水源確認により交流が深まる等、可能性を感じています。**

棚田の保全では、水系ごとに水路の掃除を行ったり、**地域の団体（シニアクラブ、子ども会、消防団等）や移住者が行事に参加し、助かっています。**赤米の栽培を始めて35年。時代とともに様々な関係者が協力し、**生産現場と消費者をつなぐ交流会等（鯉のぼり飾り、赤米アート、田植え・稲刈り体験等）**も開催してきました。

お話を伺いました



吉住公洋様



吉住万葉様



吉井上棚田 面積 18.2 ha

課題と今後の展望は？

人口減少、高齢化、空き家増加等の課題があります。地域農業の将来について描く地域計画の作成の話し合いでも、地域の農業を担う中心人物の確保に苦慮しました。

こうした課題には、**農業体験を通じて農業の大切さを学ぶことが重要**と考えています。近隣の新興住宅地に居住する若い夫婦の中には農業に興味がある方も多く、農業施設の補修や機具に詳しい建設業の方等も身近にいらっしゃいます。**農業者以外の地域住民の棚田保全の参加に意義**があり、お声かけが必要と考えています。

意見交換、ありがとうございました！



赤米アート



赤米

有機農業・環境保全型農業の優れた取組を募集します！

持続可能な農業の確立を目指し、意欲的に経営や技術の改善、普及等に取り組んでいる農業者、農業団体、流通・加工業者、教育機関等を表彰する「令和7年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」を実施します。自薦他薦を問わず、ご応募をお待ちしています。

【表彰部門】 有機農業・環境保全型農業部門

【表彰点数】 農林水産大臣賞：1点以内、農産局長賞・畜産局長賞：合わせて3点以内

【応募分野】 (1) 生産 (2) 加工・流通・消費 (3) 人材育成

【応募期間】 都道府県に提出する場合：9月5日(金)まで

農林水産省農産局農業環境対策課に提出する場合：9月19日(金)まで



▷ 応募に必要な書類等の詳細はこちら(農林水産省サイト)

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/hozen_type/250606.html

ニッポンフードシフト 表彰のご案内



食と農をつなぐアワード

「ニッポンフードシフト」事業の一環として、食料システムの関係者・関係団体間の相互理解と連携・協働を促すため、優良な取組を行う企業・団体等を表彰します。

応募期間：8月25日(月)まで https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/aw_connect.html

FOOD SHIFT セレクション

「地産地消または国産農林水産物の消費拡大」「みどりの食料システム戦略の推進」「家庭備蓄の市場拡大」「インバウンド消費拡大」という4つの視点で、美味しさや、ストーリー等が魅力的な産品を募集し表彰します。

応募期間：9月5日(金)まで <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/250715.html>

未来につなぐお弁当Actionフォトコンテスト

サステナブルな食材(国産有機農産物等)・地産地消(国産)の食材を使用したお弁当を作り、撮影し、応募。入賞特典や応募の詳細はURLを！

応募期間：8月31日(日)まで https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/250715_1.html

ニッポンフードシフトとは？

消費者・生産者・食品関連事業者・行政が一体となり、「食」の未来について考え、話し合い、行動するための取組です。今こそ、変えるべきは変え、守るべきは守り、新しい挑戦を応援しながら、時代にふさわしい「食」のあり方を一緒に考えてみませんか？



「見たい！知りたい！九州農業2025」を公表

九州農政局が管内各県における食料・農業・農村の現状、主要施策への取組状況や課題・最近の取組事例を公表することにより、広く関係者に知っていただき、各地域農業の様々な取組をさらに進めていただくために作成しています。是非ご覧ください。

▷ 「見たい！知りたい！九州農業2025」(九州農政局サイト)

https://www.maff.go.jp/kyusyu/kikaku/mirusiru_2025.html



【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室

〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261 (代表)

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

